

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『論理国語』（筑摩書房））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】的確に理解したものを適切に表現する力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	100パーセントは正しくない科学(更科功) 【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 科学における推論とはどのようなものか、演繹と推測とは何が異なるのかを理解する。 ・ 科学をめぐる論理の仕組みをしっかりと身に着ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文をよく読み、筆者の主張を理解したうえで、「論理」を単なる抽象的概念として扱うのではなく、日常の出来事と関連付けて考えることができる。	指導事項 ・ 本文読解。 ・ 本文の文章と「仮説」「検証」「根拠」等の図を踏まえて筆者の考えと自分の意見をまとめ、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 科学における推論とはどのようなものか、演繹と推測とは何が異なるのかを理解しようとする。 ・ 科学をめぐる論理の仕組みをしっかりと身に着けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文をよく読み、筆者の主張を理解したうえで、「論理」を単なる抽象的概念として扱うのではなく、生徒の日常の出来事と関連付けて考え、理解に努めている。		○	○	○	7
	知識の扉（港千尋） 【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、文章の構成や展開の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 本を読む際、どのように身体を動かし感覚を働かせているか、具体的に思い描くことができる。 ・ 筆者の主張に説得力を持たせるための論展開について多面的・多角的な視点から評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、要旨をまとめる。	指導事項 ・ 本文読解。（副教材『ちくま文学講読』を活用する。） ・ 「読み書き」の中で電子化によって失われてゆくものやその時代背景について調べ、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 本を読む際に身体の動かし方や感覚の働かせ方を、具体的に思い描こうとする。 ・ 筆者の主張に説得力を持たせる論展開について多面的・多角的な視点から評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、要旨をまとめようとしている。		○	○	○	6
	定期考査							1
	物語という欲望（内田樹） 【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、文章の構成や展開について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 物語は作者と受け手の関与によって予期せぬ展開があり、それを解釈することの豊かさを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 筆者の主張を踏まえ、ニュースなどでどのような「解釈」があるかを考える。	指導事項 ・ 本文読解。 ・ 映画の、一見意味のなさそうな映像に「奇妙な抵抗感」を覚えたことはなかったかなど、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・ 本文中の語句や語彙の使い方、文章の構成や展開について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 物語は作者と受け手の関与によって予期せぬ展開があり、それを解釈することの豊かさを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 筆者の主張を踏まえ、メディアで取り上げられているニュースなどでどのような「解釈」があるかを考えたり発表したりできる。		○	○	○	4
	山月記（中島敦） 【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「臆病な自尊心と、s尊大な羞恥心」の表現について考えて理解できる。 ・ 「俺」と「自分」など、言葉の使い分けの意味を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 歴史的背景や作者の経歴を踏まえ、この作品の意図を理解する。	指導事項 ・ 本文読解。 ・ 文章を論理的に捉え、現代社会との相関について自分の考えをまとめ、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・ 語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「臆病な自尊心と、s尊大な羞恥心」の表現について考えて理解できる。 ・ 「俺」と「自分」など、言葉の使い分けの意味を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 歴史的背景や作者の経歴を踏まえ、この作品の意図を理解している。					7
定期考査							1	

	現代日本の開化（夏目漱石） 【知識及び技能】 ・異なる時代の文章を読む際に、語句・語彙、表現の技法を押さえて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史的な視点を持ち、評論文の筆者の主張の意義と問題点を適切に理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歴史的な「近代化」の定義から、日本の近代化の荒波で苦しんだ知識人の証言を理解する。	指導事項 ・本文読解。 ・人間の行動の背景にある論理的思考を捉え発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・異なる時代の文章を読む際に、語句・語彙、表現の技法を押さえて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史的な視点を持ち、評論文の筆者の主張の意義と問題点を適切に理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歴史的な「近代化」の定義から、日本の近代化の荒波で苦しんだ知識人の証言を理解している。					4
2 学 期	こころ（夏目漱石） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「K」の言動をもとに「私」がどのような推論のもとに行動しているかを確かめながら、「私」自身が破局に至る過程を追う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読解を深めながら自分が抱いた感想や意見をメモし、それをもとに意見交換をする。	指導事項 ・本文読解。（副教材『ちくま文学講読』を活用する。） ・人間の行動の背景にある論理的思考を捉え発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「K」の言動をもとに「私」がどのような推論で行動しているかを確かめながら、「私」自身が破局に至る過程を追う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読解を深めながら自分が抱いた感想や意見をメモし、それをもとに意見交換を行っている。					8
	定期考査							1
	荘子（湯川秀樹） 【知識及び技能】 ・の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典が原子物理学の世界を考えるヒントにしたように、古典の意義を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歴史を経た叡智による様々な解釈について理解し、自分の身近な具体例を取り上げることができる。	指導事項 ・本文読解。 ・古典の意義や歴史を経た叡智について、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典が原子物理学の世界を考えるヒントにしたように、古典の意義について理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歴史を経た叡智による様々な解釈について理解し、自分の身近な具体例を取り上げている。					6
	定期考査							1
	トリアージ社会（船木亨） 【知識及び技能】 ・語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用語の普及と社会情勢の関係から、ことばの変遷について社会の実層を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「暴力に匹敵する知」や「巧妙な統治技法」などの表現から筆者の考えを理解する。	指導事項 ・本文読解。 ・歴史的背景や筆者のさまざまな表現から、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用語の普及と社会情勢の関係から、ことばの変遷について社会の実層を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「暴力に匹敵する知」や「巧妙な統治技法」などのさまざまな表現から筆者の考えを理解している。					6
定期考査							1	
3 学 期	沖縄戦を聞く（岸政彦） 【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手の世界観、価値観に即して聞き、必要な姿勢を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「聞く」力から、沖縄の人々の言葉に耳を傾け、「聞くこと」と書くこととの密接なつながりを実感する。	指導事項 ・本文読解。 ・「聞くこと」「書くこと」のつながりを体験し、相手の世界観や価値観にふれて、理解する。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手の世界観、価値観に即して聞き、必要な姿勢を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「聞く」力から、沖縄の人々の言葉に耳を傾け、「聞くこと」と書くこととの密接なつながりを実感していく。					4
	ビッグデータ時代の「生」の技法（柴田邦臣） 【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ボランティア活動をの経験と知識から「自立とは何か」を不覚理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報技術の進展は、人間の「生」を変えるか、体験と知識が結びついた思考の展開を理解する。	指導事項 ・本文読解。 ・「自立とは何か」をより深く考えることができ、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ボランティア活動をの経験と知識から「自立とは何か」を不覚理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報技術の進展は、人間の「生」を変えるか、体験と知識が結びついた思考の展開を理解している。					6
	「である」ことと「する」こと（丸山眞男） 【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を的確に捉えて、要旨を把握し、民主主義のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて考える。 ・『「である」価値と『する』価値の倒錯』した例を探し、民主化の進んだ状態について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主主義のあり方について述べた評論をよく読んで、考えたことを積極的に発表する。	指導事項 ・本文読解。 ・「である」こと、「する」ことがどういう状況を表したのかを具体例をもとに的確にとらえ、発表や話し合いからより深く理解する活動。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係、段落相互の関係を的確に捉えて、要旨を把握し、民主主義のあり方について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて考えている。 ・『「である」価値と『する』価値の倒錯』した例を探し、民主化の進んだ状態について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主主義のあり方について述べた評論をよく読んで、考えたことを積極的に発表している。					7
定期考査							1	
合計								70